

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 アトピー性皮膚炎患者に対する入院療法の有用性の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 皮膚科 職位・氏名 准教授・福田英嗣

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院皮膚科では、アトピー性皮膚炎患者に対する入院療法の有用性の検討を行うことを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、ステロイド外用薬を中心とした入院療法の有用性を評価でき、ステロイド外用薬の適正使用につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2017年1月～2020年12月までに東邦大学医療センター大橋病院皮膚科において、アトピー性皮膚炎の診断で入院療法を受けた成人の方約90名

方法:入院中の診療録から抽出したデータ(入院前後の重症度や血液データなど)について、入院前後の変化を解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、血液検査データ、生活の質(quality of life: QOL)評価、個人情報等

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師:福田英嗣 役職:准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 皮膚科

職位・氏名 准教授・福田英嗣

電話 03-3468-1251 内線 2012